

鳥山市スポーツ交流事業の思い出

加藤 駿汰

最初に韓国の話しを聞いた時はすぐ行き
方いと思って、決まっ。方時は本当にうれしく
ていつも以上に体調管理をしてきました。
初めての飛行機でテレビがあるのにおどろ
きました。外国も初めてで最初は不安もあっ。
方けど、みんなと過ごしているうちに楽しく
なっ。てあっ。という間に着いて今度はワクワク
が止まりませんでした。

ミニチュア博物館でのミニチュアの作り方
がねんどやろうそくで天ぷらのころもを作っ
たりしてしようげきでした。

ご飯を食べる時に韓国の子がいて、しかも
ご飯とかが日本と似ていてびっくりしました。
ホームステイ先の人がやさしくてよかった
です。チキン屋さんとプリクラをとりにつれ
ていっ。てもらっ。たりしました。言葉が通い
なくてもいつも笑顔で接してくれてうれしかっ
たです。

試合の時にグラウンドがとても広くておどろいたし、人工芝が初めてだったから楽しかったです。試合に出してもらえて一試合勝ててうれしかったです。

最後の日、ホームステイ先の人とお別れするのがとてもさびしかったです。たけど三日間本当に楽しかったです。

帰国した次の日にホームステイ先の家族とビデオ通話をしてうれしかったので、ずっとながめていたりと思いました。

六年生の中でうちとけられるか不安だったけど、みんなやさしくておもしろくてこのチームで良かったと思いました。

五年生でこのようないけ人をさせていただいてうれしかったです。ありがとうございました。

スポーツ交流事業に参加して

松賣 理功

ぼくが韓国に行つて体験して心に残つたことは、4つあります。

まず、1つ目は初日のミニチュア模型館に行つたときのことを話します。ミニチュア模型館ではミニチュア模型を見るのを楽しみながらお題用紙に書いてある模型をさがすビンゴゲームをやりました。ミニチュア模型の完成度が高くてビックリしました。ミニチュア

模型を見て、ビンゴゲームを楽しむだけでなく、歴史や国の有名なものも学べたから良かったです。あと模型作りも楽しかったです。

2つ目はホームステイ先のホストファミリーとの交流です。ホストファミリーとの会話には、主にほんやくアプリや英語、身ぶり手ぶりなどで伝えたりしていて、本番となると韓国語はあまり活かせなかったです。でも、日本人なで仲良くペナルティ付きのゲームや、風船でサッカー、ぼいことなどをしていた。ぼい

楽しむことができました。

3つ目は、サッカーの親善試合のことです。韓国のチームは体が強くてすぐに突き飛ばされてしまいました。他には、ディフェンスカモすぐれていてすぐにボールをとられてしまいました。だけどクロスをとったりパスがうまくいかなかったこともあったけどいいパスもだしたりしてチームにこうけんできました。と思います。

4つ目はロッテワールドです。行くときはワクワクしていたけどこのアトラクションも大行列で時間内に行けたアトラクションはゴーカートとお化けやしきだけでした。でもゴーカートは本物の車にのっているみたいでした。お化けやしきも日本とはちがいで、暗くて別のふんいきでした。

最後に、韓国での友だちがいっぱいできました。買った物はどんな感じが、車の車種はどんなものなのか、なごのきも人を解消できたので良かったです。

初めての海外

牛山 大志

안녕하세요 (안녕하세요) ぼくが一番最初に覚えた韓国語

です。行く事が決ま、た時すごくうれしかっ

たです。行く前はホームステイ先の人ほとんど

お人だらう。どんな家か、トイシにペーパー

1流せるのがな？向こうの子は金髪が多か、

たから怖りのかなと不安もあ、たけど、行

たらみんなやさしくて、家もマシヨソでキ

レイで安心しました。ヒョソジンに会、たの

は一日目の夜初めてあく手した子でした。オ

ソマもやさしくてい、ばい、話しかけてくれま

した。ぼくも仲よくなりたか、たのではずか

しかりずに声をかけるように心がけていまし

た。サッカー場はとてもキレイだ、たけど人

工芝ですごいスベリました。試合もすごく楽

しくてオレがすごいプレイしました。のママはト

イレに行、ていて見ていか、たらしいです。

残念でした。韓国の子はみんなほっこり力があ

っ、てすぶが、たてす、一結に、わ、か、して

らも、とみんなと仲よくなりました。2日目
の夜色んな所に連れて行ってもらう。作り道具
で、パソコンで打ちと遊んで、おかげで一番楽しかった
です。オンラインマガを作ったんだ。おかげで、おもしろ
かったです。あと、ビックワリレ、事は日高と
違って鳥出市はマインショングタカです。
パソコン家も2階で言いかつたです。来年と
パソコン達が日高に来たり、みんなでお箸で遊
びたいです。一緒にいる時間が短かすぎた
けれど、楽しくて、いろんな経験ができて、良
かったです。ありがとうございました。

鳥山市スポーツ交流感想文

高麗川小6年 國分 開惺

ぼくは、この国際交流事業で韓国に行き、様々な事を発見、体感しました。そして、この事業を通して感じたことが二つあります。

まず一つ目はスポーツは人々のかけ橋になるということですが、これは、二日目のサッカー親善試合が終わり、夕食会場までバスで移動している時、みんなが同じ国の人だけでなく全員が仲良くなつて、打ちとけたふんいき

になつていました。これを見てぼくはスポーツには人々のかけ橋になれる、と実感しました。でもぼくはスポーツで仲良くなる事はあまりないと思つていました。スポーツは、結果とその過程が重要なのでスポーツをすることで人と仲良くなれるとは思っていませんでした。でも、スポーツで交友を深められることを知つてぼくは、スポーツにおいて結果や過程も重要ですが、スポーツマンシップや思いやり的心などをさらに大切にしようと思ひ

ました。

次に二つ目は、努力は必ず報われるということ。ぼくは韓国に行く前に言語を少し勉強していました。実際に韓国に行って、英語や韓国語を使ってコミュニケーションをしました。そして、ホストファミリー宅や競技場でも、勉強してきた言葉を使い、うまくいかないところはジェスチャーをまじえて会話をすることができました。このとき、事前の準備をしたことで、努力は必ず報われる事を

実感しました。そして、ぼくは今までよりさらに努力の大切さを感じました。

この体験を通してぼくは、今までより相手の気持ちを考えてたり、思いやりの心を持ち、さらに目標に向かっ。てたくさん努力していきたいです。

山島 凜聖

かんこくに行かせていただくよと決ま^った時
最初はとても不安でした。しかしホームステ
イ先がいつものチームメイトとい^っしよとい
う事を聞いて少し安心しました。きんち^{ょう}う
の中、夜ご飯を食べに行^った時、一番最初に
ヒ^ョンジンの母さんが「私がヒ^ョンジンの母
さんだよ」ときてくれて不安がい^っし^ゅんで
とけました。その時、ぼくはヒ^ョンジンの母
さんはとても優しい人だなと思いました。バ
イキングではかんこく料理がたくさんありま
した。がぼくはかんこく料理じ^やない日本にも
あるおすしをいただきました。本場のかんこ
く料理がはじめてだ^ったのでち^{ょう}せんでき
ませんでした。次の朝、ヒ^ョンジンのお母さ
んが朝食を作^ってくれました。がまず品数の多
さにびっくりしました。そしてながでもキム
チがとてもおいしく何度もおかわりをしまし

た。おかげでかんこく料理が大好きになりました。日本に帰ってきたからもとヨンジンの母さんの手料理が思い出され、また食べたいなとすごく思います。そしてサッカーの試合当日、試合会場の広さに感動しました。ここでプレーできるなてあくおしました。さらに目標だったゴールを決めることができました。ゴールを決めると相手選手の保護者方もはくしゅしてくれたりもり上げてくれます。すごくうれしかつたです。チームメイトのみんなが

がんばっている姿を見て、このチームにいて良かつたなと思いました。チームメイトとはバスの中でニゲムをしたりみんなをて、ご飯を食べたりあつという間のろ日間です。すごく良い思い出になりました。自分かしてもらったようにこまっでいる人や海外の方にも優しくしていきたいです。これからはこの経験を生かして色々な国の友達をつくれたらいいなと思つてます。夏休みにはまたかんこくへ行きたいです。このようなきちような体験をさせて頂き本当にありがとうございました。

「鳥山市との交流事業に参加して」

須崎 蒼士

ぼくは、日高市の交流事業で韓国の鳥山市へスポーツ交流事業に参加しました。初日はミニチュア模型館にて鳥山市の歴史を沢山知り、夜は韓国のサムカチチームの選手たちと一緒に、美味しい夕飯を食べました。その時にとてもたくさんの友達をつくり仲良くなれました。ホームステイでは姉弟三人のお家にお世話になりました。とても沢山遊んでもらいますごく楽しい初日でした。

二日目、午前中は市内見学でバードパークに行きたくさんの鳥たちを見る事ができました。午後には待ちにまいた親善試合です。お互い全力で戦い結果は一勝一敗の引き分けになりましたがとても良い試合になりました。三日目ホームステイでお世話になったご家族のご両親はお別れをすることにとっても悲しくなりました。一緒に写真を撮ったり翻訳機を使ってお話を聞いた時間もとても幸せで

した。いつかまたお会いできるといいですね
と言っ、てくれました。ぼくはとても嬉しくて
涙が出ました。お世話になったご家族と別
れをしバスに乗りました。ロッテワールドで
遊びお土産を買い日本に帰ってきました。

鳥山市はとても良い所だと感じました。ホ
ムステイ先のお父さん、お母さんに見守ら
れずばらしい経験をさせていたたきました。
感謝しています。五年生でこのようなたくさ
人の経験ができたことを感謝し今後のリツカ
ーや生活に生かしていきたいと思います。ありがと
うございました。

交流をふりかえって

高橋 英幸

ぼくは、交流をふりかえって、三ノ書を書きま
す。

一ノ日は、ホームステイです。ユング人の
家では、まくらびたとき合ったり、マイック
ラフトをやったり、けっこうをそんなでました。
さらに、かん国語がむずかしかった。たのび英語
び言、たり、ぼんやく機向うとかでやりとり

してました。

二ノ日は、試合です。試合では、出るこ

が少なかつたけれど、たくさん応援人で来たか

ら、よく思っています。そして、出てた時は、こ

ろとがしちやうたけれど、勝てるところでたと思

います。

二この交流を通して、オサジ市の子たちと仲

好しても深くはなれたいと思います。そして、来

年せむばつにいらしたから、今来はむこうが

度とくるので、せむかむたたいです。

スポーツ交流に参加して

二

武蔵台小中学校 大野 楽斗

僕は、この事業に参加して、学んだことがあります。

一つ目は、サッカーのことです。

サッカー中は、みんな団結して、韓国の人と真剣に戦ってきました。僕は、六年生になって、スポーツ少年団の人数が減ってしまい、六年生だけの練習や試合ができていなかっただけで、韓国の大きいサッカー場で十一人制の試合ができて嬉しかったし、サイコーに楽しかったです。試合は、楽しくできて最後まで協力して気を抜かずサッカーをしました。

二つ目は、ホームステイのことです。

僕は、最初かなり緊張していて、自分から声をあまり出せなかったけど、韓国の家族が気遣いをしてくれて、たくさん関わりました。

韓国の人とは、ジェスチャーや英語・韓国語を使って会話しました。ホームステイ先では、みんなでゲームをしたりお菓子を食べたりし

韓国と交流して思ったこと

山本 偉楓

ぼくが韓国にいったことや楽しかったことなどがあります。

一つ目は、文化のちがいです。例えば、日本では、¹いたたまきます。という時には、手を合わせると、韓国では手を合わせないとか、²お人ももつ、もたないという文化のちがいを感じました。

二つ目は、バードパークです。理由は、動物にえさをあげたり、³かかんでしか見たことしかない生き物や、⁴かかんでみたことのない動物がいたこと、日本では、外見でしかみられない動物とふれあえたりともたのしかたです。

三つ目は、サッカーの試合です。試合では一勝一敗で一試合目は、一対三で負けました。でも勝ったけど次の試合では五対三で勝つて、でも勝つても負けなくても、楽しくサッカーができたのでよかったです。こねからも楽しくサッカー

か
で
き
る
よ
う
に
か
ん
は
り
た
い
で
す。

最後に、韓国へつれ、てくれたコナヤカ
人とく、市役所の方そして親に感謝をしつ
けたと思います。そして、そむい、しよにサ
カ、をしした韓国の人そして、仲間、ホムス
テ、先でたのしく住こしてもら、たホムス
テ、先のお父さんとお母にもありがたうの
ま
ち
を
あ
ま
れ
ず
と
す
べ
し
て
い
ま
す
と
思
い
ま
す。

韓国交流で学んだこと

佐々木 健太

韓国の烏山市に行つて、ぼくはたくさん
の事を学び楽しみました。一番学んだ事
は、言語やマナーなど色々な事がちがう
けれど、お互いが言っている事を理解し
ようとして、会話をしようとするこ
とが大切だと思います。また、言語が
ちがっても伝わる事や思いはあ
るといふ事です。ホームステイ先では、
一緒に買い物をしたりゲームをして仲
よくなりました。

ました。サッカーは人工芝のきれいな
グラウンドで日韓戦が出来て良い思
い出になりました。次に楽しかった
ことです。一日目はミニチュア模
型館に行き二日目はバードパークに
行きました。三日目はサッカーの試
合をしました。ミニチュア模型館では、
今までの韓国の歴史をミニチュア
で見ると実際にミニチュアを作る
体験をしました。二日目のバードパ
ークでは、色々な動物たちにえさを
あげて楽しみました。三日目は

ロッテワールドに行きました。室内と思えな
いぐらいアトラクションがいっぱいあり楽し
かったです。こうして、楽しい三日間を過ご
す事が出来、無事交流も出来ました。

コロナなどで今まで出来なかったけど今年
から再開してうれしかったです。これからも
続いてほしいと思います。今回の経験を今後
外国の人と関わる時に生かしたいです。

韓国交流事業の帰国報告

高萩北小学校 館洞 龍希

僕達選手十五名は十月二十七日から二十九日まで友好都市スポーツ交流事業の日高市代表として韓国の烏山市へ行くこと参りました。出発の前には日高市長様を始め多くの方々に出発会を開いていただいた事がみんなの気持ちの一つになり、チームとしての絆が深まりました。当日は選手十五名全員が万全の体調で韓国遠征に望む事ができました。

韓国では、初めての景色や言葉にとっても緊張しました。でも、そんな不安な気持ちはすぐになくなりました。韓国の方々には僕達にとっても優しく接してくれ、僕達の言葉を一生懸命理解しようとしてくれました。ホームステイでお世話になったホストファミリーのみなさんは日本とは違う韓国の文化を教えてください。とても楽しい思い出になりました。二日目に行われたサッカーの親善試合では一勝一敗という成績を残す事ができました。自分自身

かこれからスポーツをしこいくうえでとこも
良い刺激になつたと思います。

僕はキャドテンとしてのアレックスヤーマあ
りましたか、仲間と協力し、一生忘れる事の
ない思い出を日本に持ち帰る事ができました。
この様な経験をさせていただいた事に感謝し
ています。ありがとうございました。

「ザッカー」交流事業に参加して

中野 祐斗

ぼくは、韓国でお思ったことが2つあります。

1つ目は、韓国のごはんです。日本にいたときは、韓国の食べ物はいくらもありません。でも、思っ、こいきました。ぼくは、あんまりからい物がとくいじゃない。だから、日本では、いでした。たけれど、韓国の食べ物全部は、からとなく、あま、物もある。たし、自分のたべれるものがある。こまが、たとお思いました。

2つ目は、韓国での生活です。

韓国でのくらしは、日本とちがうところもある。たし、日本とちがう生活もありました。

日本は、ごはんのときにおわんをもちあげて、もい、いけと韓国では、おわんは、もちあげない。たか、たから日本とちがうマナーがある。た、た、と思いました。韓国と日本では、マナーがいろいろちがいました。

スロース交流事業に参加して

高萩北小 佐野 暖空

今回、交流事業に参加させていただき、たくさん
の事を体験できました。

韓国に行く前は、一番不安だったのは、ホ
ーリスティでした。言葉やどんな人たちがあ
るか、不安でした。

十月二十六日、いよいよ日本を出て、
とうとう着きました。高い建物ばかりで、日本と
違う事ばかり、空気が良かったです。

ホームステイは、ホンジュン君(四姉妹)
の家にお世話になり、みんなとても優しくて
安心しました。ほんやくを使ってお話してくれ
たので話せました。夜ごちそうしてもらったチ
キンは今まで食べた中で一番のチキンでした。
朝ご飯もおいしくて、一口残すのを忘れて全
部食べたがり、すぐにたくさんのおかありが子
で、みんなが笑ってしまいました。ホンジュ
ン君とお別れは悲しかったです。日本に来
たりおもしろい物をこちそうしたいです。

一番思い出しにのこったのは韓国の人とのサツ
カし替えん談合です。韓国という大舞台でブ
ールを決めて勝負事ができそうれしかつたで
す。勝つて帰る事を信じていたので、うれし
かつたです。それかろ仲間たちと三日間あつ
して、仲良くなれてキミなが深まりました。
この韓国ですごした三日間は、ぼくの人生の
中でもっとも最高の三日間でした。そして無
事に帰つてこれて、お世話になつた、みなさん
に心からありがとう。します。ありがとうございます。
いました。

かん国での三日間

大友 優雅

ぼくは、初めこの海外旅行でとてきわくわ
くしてしまいました。なぜかというところ、飛行機の
国内線は乗ったことがあるのですが国際線に
は乗ったことがなか。たからです。その飛行
機の中には、モニターがあり、なにができる
のかなと思。ていた。イヤホンをさすところ
ろが見づからず深すのに10分ほにかか。てし
まい少しおせりました。モニターは映画な
どを見ることかでき国内線とは一味ちがうな
と思しました。

金浦空港に着くと入国手続きをしました。
待得ている間は友達としゃべ。ていたのび
楽しかったです。空

空港から出るときに鳥山市の人たちかむか
えでぐださりますぐうれしか。たです。次に
バスでかん国のマウリに行きました。そこで
食ったのがブルゴギバシがです。そのバ
カシはさすがにおいしく日本のマウリよりもお

いしいなと思ひました。次に向か、たところ
は、ミニチュアの展示をしている所です。そ
こで見たのは、かん国ができるまびこびきた
あとのところまでありました。とてもワオリ
テ、かたかく本当に人が作っているのかなと
思ひました。その後、ぼくもミニチュアを作
ることになり日本の食べ物を作りました。
ぼくは、とても不器用なのでうまく作れるか
なと心配していたのですが、け、こううまく
作れたのでよかったです。

次は職員さん会場に向かいました。バスの
中ではみんな楽し、か、ていたのが楽しか、
たびす。晩さん会場に着くとかん国の選手
が来ており、行動がはさいなと思ひました。
そこには、たくさん食べ物があり取、てきて
食べました。どれもすびくおいしか、たです。
その後、ホーイスティクの家に行き、ゲ、い、を
しました。スイツキは日本で作られた物なの
にかん国にあ、こおどろきました。ホーイス
ティク先の、ホソジ、ン、んと仲よくなれた

のでうれしかったのです。

次の日は、午前中にかん国の動物園のよう
な所に向かい日本にいないような動物がたくさん
さんいておどろきました。

午後は、サッカーの交流試合をしました。
十対三で一試合目はまけしまいました。たが、
二試合目では五対一で勝ったのでうれしかった。
作です。一勝一敗だ。たので楽しく試合を、
終わることができえよかったです。たなと思いました。

次は、シャワーを浴びました。かん国には
シャワーがないというものがあるんだ。たなと初
めをい。たのでおどろきました。

その次に、晩さん会の会場に向かいました。
その晩さん会の会場に、お長さんが来てくだ
り、感激しました。そこで食がたなでがすづ
くおいしくおはんを三ばい食がました。

その後は、ホームステイ先の人とい。ま
にスパーに行きました。スパーには、日
本にはないような物がたくさんありおどろき
ました。そこで、ホームステイ先の方が好き

な物を五つ選んでくださいと言われ、かん
国の人はずごくやさしいなと改めて思いまし
た。その後には家にもどって楽しく過ごしました。
次の日は、ホーイスティン先生の人やかん国の
選手とお別れをしました。最後に、ホソジッ
ンさんと写真をとりました。名前をよんでく
れたのですぐくうれしか。たびす。その後バ
スに乗りロッテワールドに向かいました。ロ
ッテワールドの中には、この世界とは思えな
いくらい素晴らしかった。たびす。

その後空港に行き、飛行機にのりました。
今回も無事着陸できましたがドキドキしていたの
ですが無事とう着きてよか。たびす。
その後、バスにのり市役所に帰ってきま
した。バスの中では、いつも通りみんなとし
やていました。楽しかった。たびす。
三日間おどろきやびっくりなどたくさん
感情がふれ出す三日間でした。

ありがとうございました。
つかいサハハニダシ